

鹿沼土木事務所管内図

KANUMA PUBLIC WORKS OFFICE INFORMATION GUIDE

2022年度 主要事業

- ### 1 都市計画道路 3-4-202号 古峯原宮通り 千渡東

 - 鹿沼市 千渡
 - 全体計画/延長:1,085m
幅員:25m
事業費:約28億円

本路線は、鹿沼市中心部と宇都宮市中心部を結び、鹿沼市の東西軸を形成する重要な道路です。しかしながら、当交差点では朝夕の通勤・通学時を中心とした交通量が多い慢性的な交通渋滞を引き起こしている状態です。そこで、バypass事業により、交通渋滞の解消、安全で快適な街路の整備を進めています。


- ### 2 主要地方道 宇都宮鹿沼線 飯岡-飯岡東

 - 鹿沼市 千渡～白桑田
 - 全体計画/延長:1,200m
幅員:25m
事業費:約29億円

本路線は、鹿沼市中心部と宇都宮市中心部を結び、鹿沼市の東西軸を形成する重要な道路です。しかしながら、当交差点では朝夕の通勤・通学時を中心とした交通量が多い慢性的な交通渋滞を引き起こしている状態です。そこで、暫定形の交差点整備を行うことで早期に交通渋滞の解消を図ると共に、機能的なネットワークを形成し、県央地域の連携を強化します。


- ### 3 一般県道板荷玉田線 辺釣工区

 - 鹿沼市 辺釣
 - 全体計画/延長:900m
幅員:10m
事業費:約27億円

本箇所は東武日光線と急峻な山に挟まれ、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であり、さらには土砂災害警戒区域(土石流、急傾斜)に指定されている地区です。危険区間を迂回するトンネルを整備することにより安全な通行を確保し、土砂災害などからの防災機能の向上を図ります。


- ### 4 一般国道293号 榎木バイパスⅡ期工区

 - 鹿沼市 下奈良部町～磯町
 - 全体計画/延長:3,000m
幅員:22m
事業費:約50億円

本路線は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市を終点とする栃木県を横断する東西交通の基幹をなす幹線道路であるとともに、緊急輸送道路にも指定されています。令和2年度に完成した榎木バイパスⅠ期工区から鹿沼南バイパス間の整備することにより、地域間連携・交通の強化や鹿沼市街地内における渋滞の解消による交通の円滑化等が期待されています。


- ### 5 一般県道 鹿沼環状線 千渡北

 - 鹿沼市 千渡
 - 全体計画/延長:2,100m
幅員:25m
事業費:約13億円

(うち優先整備区間 延長:1,200m、事業費:約13億円)

本路線は、鹿沼市における外環状を形成する重要な道路です。しかし本工区は、交通量が多いにもかかわらず、現道が狭く歩道が整備されていないため、児童や生徒の通学に支障を来しております。そこで平成26年度から優先整備区間として、北から1,200m区間の西側歩道の整備事業に着手し、児童や生徒の安全・安心を確保します。


- ### 6 一般国道121号 天神町

 - 鹿沼市 天神町
 - 全体計画/延長:360m
幅員:15m
事業費:約15億円

本箇所は、鹿沼市市街地中心部に位置し、交通量が多いにもかかわらず、右折レーンが整備されていないため、慢性的に渋滞を引き起こしています。そのため交差点を改良し、さらに電線類を地中化するにより、交通渋滞を解消し、中心市街地として魅力ある道路空間の創出を図ります。


- ### 7 一般国道293号 仁神堂

 - 鹿沼市 仁神堂
 - 全体計画/延長:750m
幅員:16m
事業費:約15億円

本工区は周辺学校の通学路で、歩行者・自転車が多いにもかかわらず、通行空間が不十分のため、児童や生徒が危険にさらされています。また、一級河川武子川仁神堂橋付近においては、平成27年関東東北豪雨及び令和元年東日本台風の際に、氾濫したこともあり、早期改善が求められています。そのため、歩行者・自転車の通行空間を拡大し、児童や生徒の安全・安心を確保するとともに、計画流量を確保した橋梁架替を実施し、災害の再発を防止します。


- ### 8 一級河川 小藪川 西鹿沼町 榎木町

 - 鹿沼市 榎木町
 - 全体計画/延長:2,900m
事業費:約29億円

平成25年7月豪雨、平成27年関東・東北豪雨により浸水被害が発生したことから、早期・集中的に河川断面を広げる河川整備を進め、安全で安心できる川づくりを実施しています。


- ### 9 一級河川 大芦川

 - 鹿沼市 北半田～下沢
 - 全体計画/延長:13,200m
事業費:約70億円

一級河川大芦川は、鹿沼市草久地内を源とし、鹿沼市街地の北西部を流れ、一級河川思川に合流する河川です。川幅が狭いことから、度々、台風等の集中豪雨により浸水被害が生じていました。平成16年度から段階的に河川整備を進めており、堤防の整備や河道掘削を進め、安全で安心できる川づくりを実施しています。


- ### 10 一級河川 武子川 深津

 - 鹿沼市 深津～千渡
 - 全体計画/延長:4,300m
事業費:約46億円

一級河川武子川は、日光市猪倉地先を源とし、鹿沼市街地東部を流れ、宇都宮市鷺の谷町地先で一級河川思川に合流する河川です。川幅が狭いことから、度々、台風や集中豪雨により浸水被害が発生しています。平成27年度から武子川の川幅を広げる整備を重点的に進め、安全で安心できる川づくりを実施しています。



11 下の沢A【急傾斜地崩壊対策事業】

- 鹿沼市 口栗野
- 全体計画/延長:210m
事業費:約2.7億円

本箇所は、鹿沼市口栗野地内に位置する急傾斜地です。当該地区は人家が密集する地区であり、がけ崩れ等により危害の恐れがある人家が24戸となっていることから、崩壊対策を行うことが急務となっていた。そこで令和2年度より交付金事業を導入し、測量作業より順次事業を進めてまいります。




12 一級河川 思川【災害復旧助成事業】

- 鹿沼市 口栗野～久野
- 全体計画/延長:3,200m 事業費:約23億円
- 事業期間:令和元年度～令和4年度(予定)
- 事業内容:築堤・護岸、河道掘削等

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う記録的な豪雨により、本事業区間において4箇所(予定)の堤防決壊等が発生し、浸水面積約152ha、浸水家屋237戸の甚大な被害が発生しました。これらの被災を受け、早期復旧による「安全・安心」の確保、再度災害防止を図るため、「災害復旧助成事業」を導入し、令和元年度から河道掘削、護岸、河道掘削等の改良復旧に着手しました。今年度は、堤防決壊及び越水した箇所の築堤・護岸、河道掘削等を実施します。



2021年度 主な成果

- ### 13 一般県道 上野下野線 久保田橋【災害関連事業】

 - 鹿沼市 上野
 - 全体計画/延長:95m
事業費:約2.5億円
 - 事業期間:令和元年度～令和3年度
 - 事業内容:橋梁架替、護岸復旧、道路拡幅等

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う豪雨により一級河川 永野川が増水し、久保田橋や河川護岸に甚大な被害が発生しました。再度災害の防止や走行の安全を確保するため、「橋梁災害関連事業」を導入し、令和元年度から橋梁の単体架替、河道や道路の拡幅等の改良復旧に着手し、令和3年度に事業が完了しました。


- ### 14 布施谷沢【災害関連緊急砂防事業】

 - 鹿沼市 中粕尾
 - 全体計画/砂防堰堤工:1基
事業費:約2.4億円

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う記録的な豪雨により、布施谷沢において土石流が発生し、人家1棟と市道に甚大な被害が発生しました。そこで、緊急に砂防堰堤を設置するため、「災害関連緊急砂防事業」を導入し令和元年度から計画策定に着手し、令和3年度に砂防堰堤及び管理用道路が完成しました。


- ### 15 一般県道 板荷玉田線 菊沢西小

 - 鹿沼市 見野
 - 全体計画/延長:1,300m
幅員:10m
事業費:約5.6億円

本路線は、菊沢西小学校の通学路に指定されているにもかかわらず、沿線は歩道がなく、特に小学校から見野橋にかけて見通しの悪いカーブがあり、通学児童や周辺住民の危険な状況にありました。そこで、平成26年度から歩道整備を進め、令和3年度に工事が完了し、歩行者の安全を確保しました。


- ### 16 馬場上沢【砂防事業】

 - 鹿沼市 下久我
 - 全体計画/砂防堰堤工:1基
事業費:約2.8億円

本地区は土石流危険渓流に指定されています。被青想定区域内に久我小学校(地域防災計画に位置づけられている避難場所)および人家9戸があります。渓流内には、多くの不安定土砂が堆積しており、そのため豪雨発生時に土石流が発生した場合は、小学校や人家に与える影響は甚大であります。そこで土石流から小学校や人家を守るため、砂防堰堤および渓流保全工を整備しました。


- ### 17 一般国道121号 下石川

 - 鹿沼市 下石川
 - 全体計画/延長:1,450m
幅員:14m
事業費:約9億円

本路線は、石川小学校及び北犬飼中学校の通学路に指定されているにもかかわらず、沿線は歩道がなく、大型ダンプ等の交通量が多いため、通学児童や周辺住民が危険な状況にありました。そこで、平成25年度から歩道整備を進め、令和3年度に工事が完了し、歩行者の安全を確保しました。

